



桃太郎が ちてくる

～どうなる鬼ヶ島!?!～

原案 田中 仁
作 岡田 新吾
絵 ニシハマ カオリ
監修 株式会社 加藤建設

桃太郎がやってくる

～ どうなる鬼ヶ島!?!～

原案 田中 仁

作 岡田 新吾

絵 ニシハマ カオリ

監修 株式会社 加藤建設



おにたちは おにがしまで のんびりと へいかに くらしていました。

そんなあるひ ももたろうから てがみが とどきました。

そこには 「ちかいうちに おにたいじに行く」と かかれていました。

おにたちは おどろきました。

どうして ももたろうたちが やってくるのか やからなかったからです。

じぶんたちは やるさなど していません。

おにの みためは こわいですが こころやさしいもの ばかりです。



おにがしまでは さっそく おにたちが あつまり はなしあいました。

おにたちは あらそうことが きらいです。

たたかうことなく おいはらうには どうしたらいいか
なににちも しんけんに かんがえました。

そして とても よいアイデアを ひらめきました。

おにがしまに ももたろうたちが やってきても
はいれないようにすれば よいのです。

おにたちには ものづくりのわざが ありました。

おおがかりな こうじに やくだつ のりものも
しまには いろいろ そろっています。



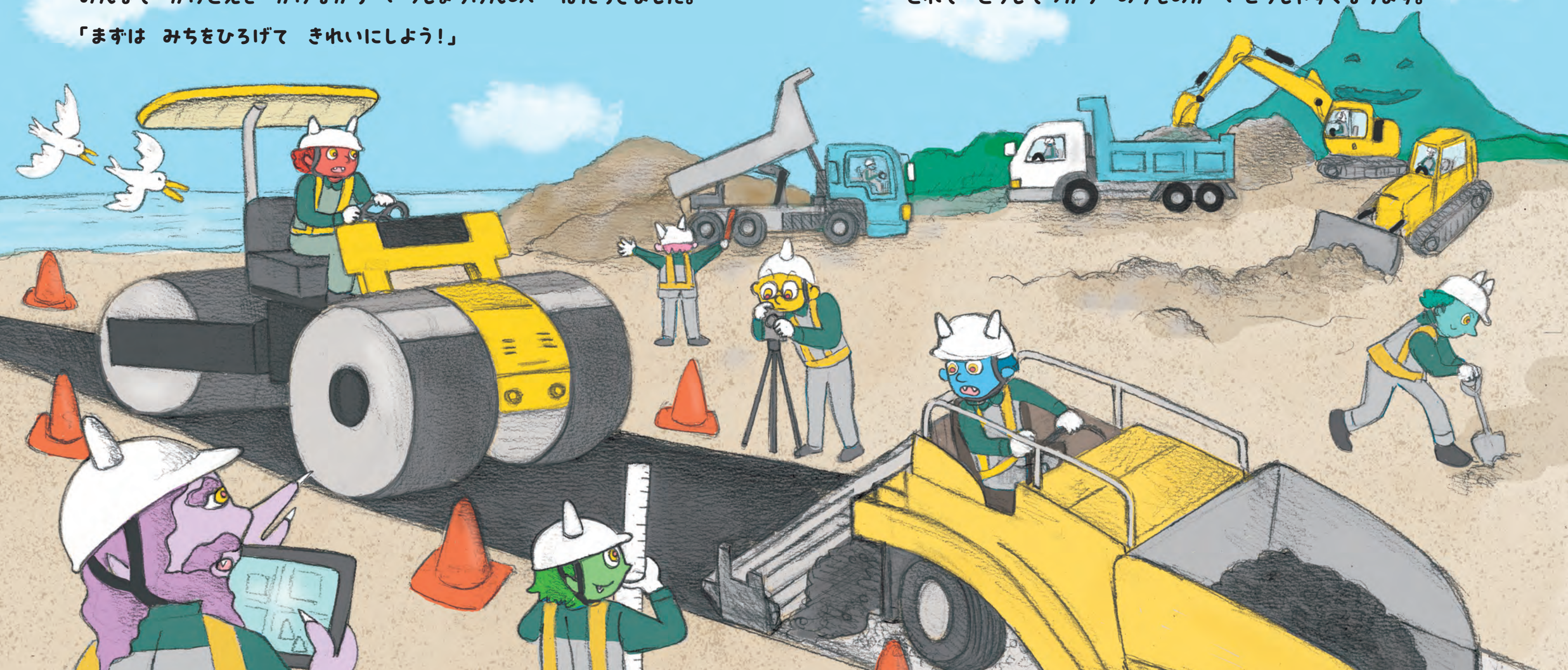
よくじつから しまじゅうで こうじが はじまりました。

みんなで かけごえを かけながら いっしょうけんめい はたらきました。

「まずは みちをひろげて きれいにしよう！」

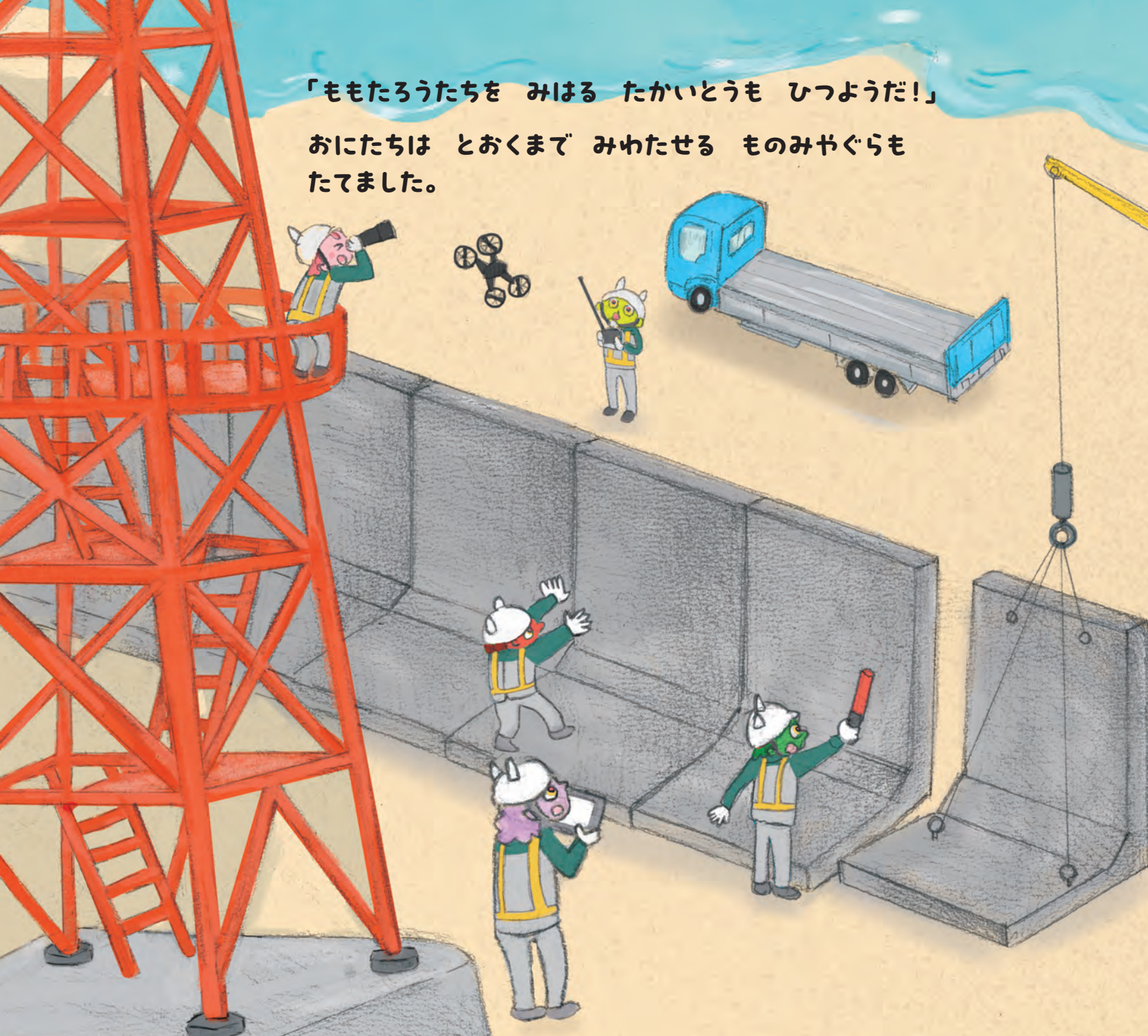
おにたちは あれていた デコボコみちを きれいにしました。

これで こうじでつかう のりものが いどうしやすくなります。



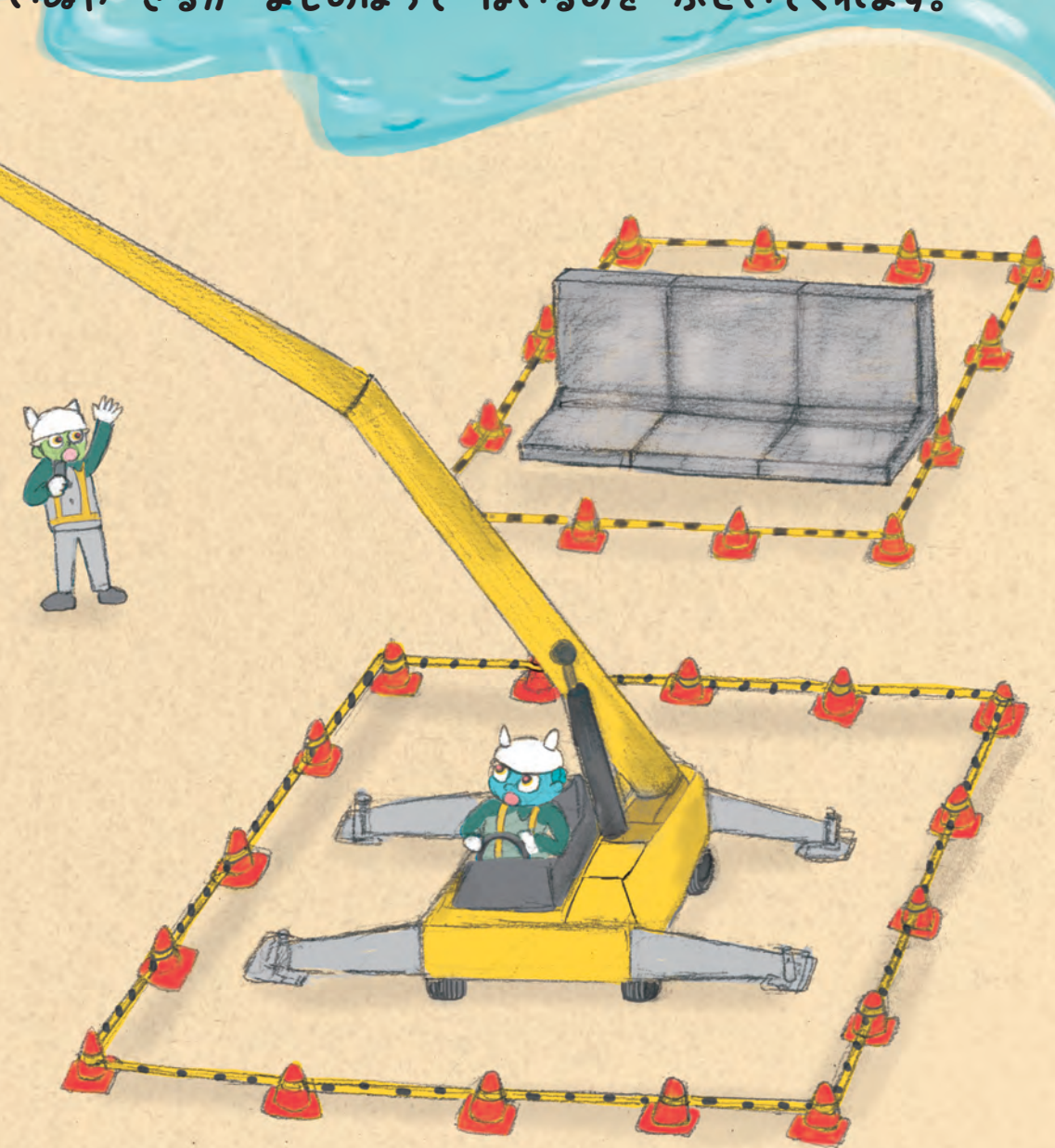
「ももたろうたちを みはる たかいとも ひつようだ!」

おにたちは とおくまで みわたせる ものみやぐらも
たてました。



「じょうぶで たかいかべも つくろう!」

かべは いぬや さるが よじのぼって はいるのを ふせいでくれます。



それから トンネルも ほりました。

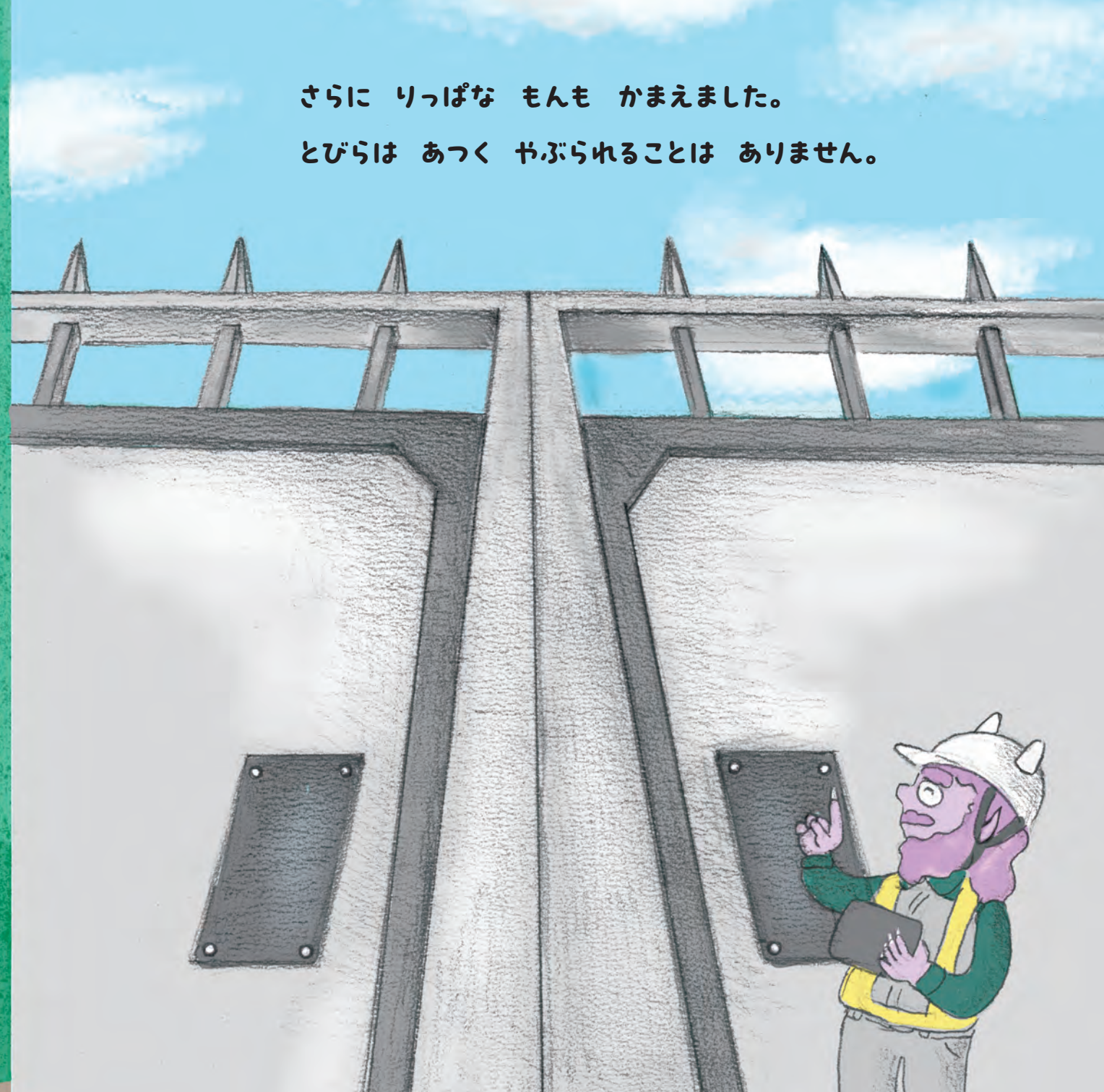
それから きじに おそわれても かくれることができます。

おにがしまトンネル



さらに リっぱな もんも かまえました。

とびらは あつく やぶられることは ありません。



こうじが おやったころ ももたろうたちを のせたふねが
しまに ちかづいてきました。

「ももたろうが やってきたぞ!」

ものみやぐらで みはっていた おにが さけびました。



ももたろうは ふねのうえに たっていました。

やがて もっていた せんすを かけると

「おにがしまに ついたぞ!」と

おたけびをあげました。

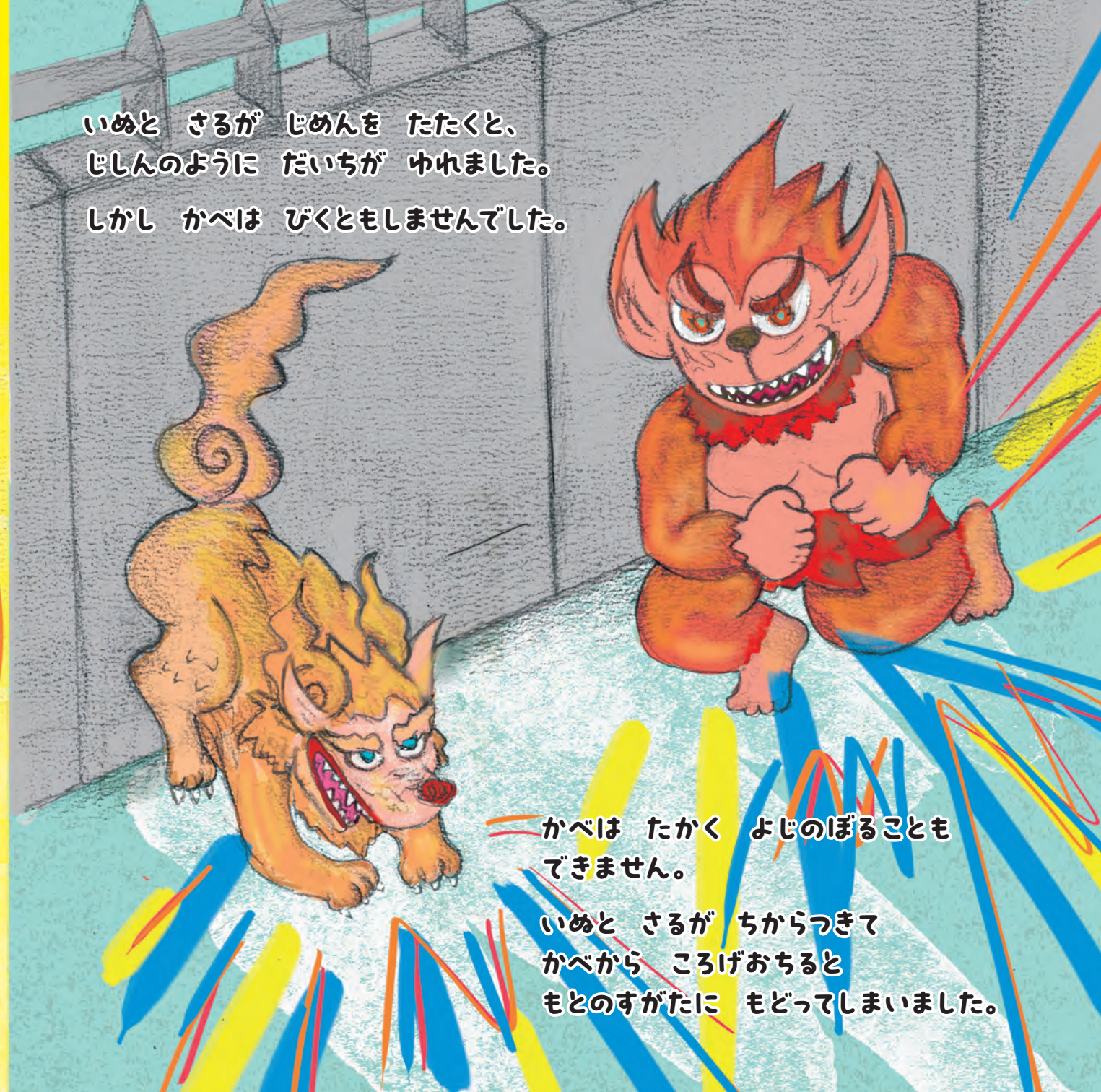
ももたろうは しまにつくと おばあさんに つくってもらった
きびだんごをとりだし いぬと さるに あたえて いいました。

「これをたべると だいちを ゆるがすほどの パワーがでるぞ!」

このことばどおり いぬと さるは みちがえるほど
たくましく へんしんしました。



いぬと さるが じめんを たたくと、
じしんのように だいちが ゆれました。
しかし かべは びくともしませんでした。



かべは たかく よじのぼることも
できません。

いぬと さるが ちからつきて
かべから ころげおちると
もとのすがたに もどってしまいました。

ももたろうは こんどは きじに きびだんごを あたえて いいました。
「これをたべると あらしをおこすほどの パワーがでるぞ!」
きじも みちがえるほど ちからづよく へんしんしました。



きじが はばたくと たつまきのような
つよいかぜが ふきました。

おにたちは すかさず トンネルのなかに
かくれました。

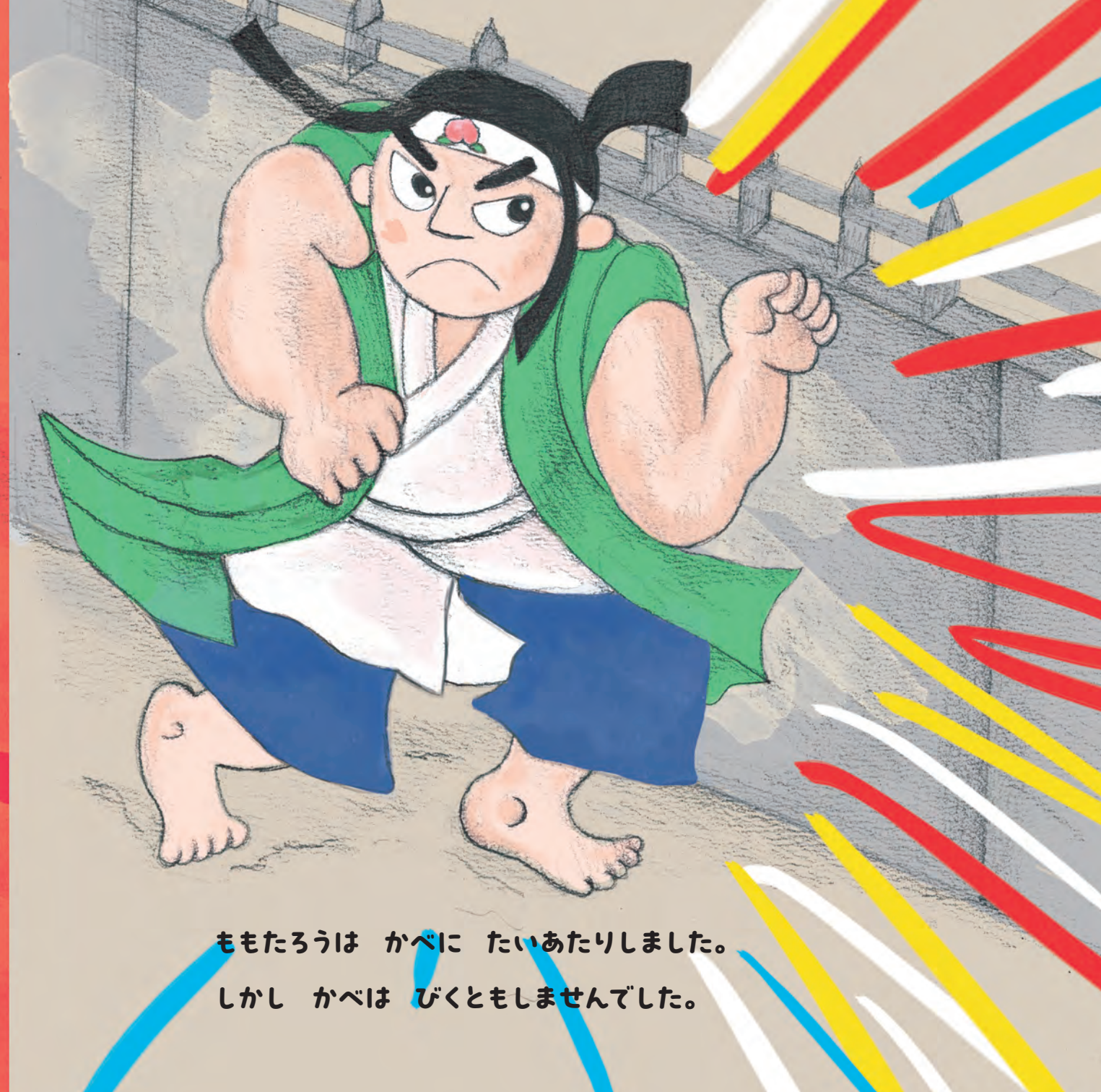
トンネルは びくとも しませんでした。

きじは ちからづきて そらからおちると
もとのすがたに もどってしまいました。

のこすは ももたろう ひとりとなりました。

ももたろうも ムシャムシャと きびだんごを たべました。

すると ももたろうの からだが みるみるうちに おおきくなりました。



ももたろうは かべに たいあたりしました。

しかし かべは びくともしませんでした。

「くやしいけど こんかいはいさんだ!」

ももたろうが なかまに そういうと ものみやぐらにいた
おにたちが とびはねて よろこびました。

そのすがたをみた ももたろうは くやしそうに こういいました。

「おまえたちが ゆるさをして あつめたざいほうは いつかきつと
とりかえしにくるからな!」

そのことばに おにたちは ざゆつきました。

じぶんたちには みにおぼえのないことです。



ちょうろうのおにが たまらず ものみやぐらに のぼって
ももたろうに いいました。

「そこまで うたがうなら しまのなかを ぜんぶみせよう。
でも ざいほうが みつからなかったら しまをおそうのは
もうやめてくれ」

ももたろうは ちょうろうの ことばに ふかく うなずきました。
ももたろうたちは おにたちが あけたもんから しまにはいりました。

たかくそびえる もんや かべをみあげて「みごとだ!」と いいました。
がんじょうな トンネルや どうろをあるき「りっぱだ!」と いいました。



ももたろうたちは しまのすみずみまで みてまわりましたが
ざいほうは みつかりませんでした。

ちょうろうの いうとおり ざいほうは なかったのです。

「もうしゅけなかった」

ももたろうは うたがったことを すなおに あやまりました。

おにたちの かおに ようやく えがおが もどりました。



ももたろうは かえるとき おにたちに ひとつ おねがいをしました。

「ぼくの くらすむらに いっしょに きてくれないか？」

ももたろうは みちや かやが あれほうだいのむらを
おにがしまのように きれいにしたいんだと つたえました。

「もちろんだとも」と ちょうろうが へんじをすると

ほかの おにたちも くちぐちに

「そうだ!」「おれたちが むらにいて たすけてあげるよ」「まかせとけ!」と
つづきました。

ももたろうは おにたちに おれいをいって
かたい あくしゅを かやしました。





桃太郎がやってくる ～どうなる鬼ヶ島!？～

2024 年 9 月 1 日 初版発行

原 案 田中 仁
作 岡田 新吾
絵 ニシハマ カオリ
監 修 株式会社 加藤建設
発行所 株式会社 三恵社
〒462-0056 愛知県名古屋市中丸町 2-24-1
TEL 052-915-5211 FAX 052-915-5019
URL <https://www.sankeisha.com>

本書を無断で複写・複製することを禁じます。乱丁・落丁の場合はお取替えいたします。

©2024 TANAKA Jin, OKADA Shingo, NISHIHAMA Kaori,
KATO CONSTRUCTION CO., LTD.

ISBN 978-4-86693-896-7

私たち(株)加藤建設は『建設業をあこがれの職業ナンバーワンにしたい』という想いをもって活動している愛知県の建設会社です。

私たち建設業は、人々の安心・安全・便利な生活を支えるために様々なインフラ整備をしています。

ただ、危険な仕事、なんか怖そう、などイメージがあまりよくないのも事実です。そこで大人も子供も知っている桃太郎をモチーフに絵本を作ることになりました。怖そうに見える鬼は私たち建設業、桃太郎は世間の目をイメージしています。一見怖そうに思える鬼たちが、その見た目のせいで偏見を持って見られてしまう…。

でも本当は皆さんの安心・安全な生活を支えていて凄い技術を持っているという事実を知ってほしいのです。

この物語を読んで、少しでも建設業っていいなと感じてもらえると嬉しいです。

そして、工事現場の近くをお子さんと通ることがあったらこんな風に声を掛けてあげてもらえませんか。

「あの鬼ヶ島の鬼さんたちみたいに町を作ってくれてるんだよ」 って。



ISBN978-4-86693-896-7
C8793



9784866938967



1928793000009

